

(要領様式第5号)

研修カリキュラム

年度	令和4年度 神奈川県保育エキスパート等研修
分野	幼児教育
実施機関	一般社団法人保育のデザインアドバンス

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	幼児教育の意義	白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆	日本の幼児教育・保育のこれから ・要領、指針の考え方を捉える ・子どもの姿ベースで考える ・幼児教育と小学校教育の接続	講義(eラーニング)+報告書	1時間29分44秒	15時間01分32秒	令和4年 7月19日(火) ～ 10月24(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
2	幼児の発達に応じた保育内容 (幼児の世界-豊かな遊びの展開)	こども教育宝仙大学 准教授 利根川 彰博	・保育者の「幼児イメージ」と子どもの遊び ・子どもの主体的な遊びと「危険」の捉え方 ・「見立て遊び」と「○○みたい」に見えちゃう不思議 ・「ままごと遊びセット」と「見立て遊び」 ・幼児の想像力と遊び	講義+演習(eラーニング)+報告書	2時間48分42秒		令和4年 7月19日(火) ～ 10月24(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
3	幼児教育の環境 (子どもの「やりたい!」が発揮される環境(3～5歳))	お茶の水女子大学 特任教授 宮里 暁美	・子どもとは何か? ・子どもが育つ幼児期の教育の在り方 ・各年齢の保育のポイント ・保育者の役割は? ・子どもが育つ保育環境とは?	講義+演習(eラーニング)+報告書	2時間29分10秒		令和4年 7月19日(火) ～ 10月24(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
4	幼児教育の指導計画、記録及び評価1 (子どもの姿に基づいた指導計画(3～5歳))	神戸大学大学院 教授 北野 幸子	・指針・要領を踏まえた計画 ・子どもの人権の視点から考える指導計画 ・子どもの姿から考える指導計画 ・子どもの姿を振り返り、計画につなげる保育の流れ ・子どもの姿に基づいた指導計画の活用とこれからの幼児教育	講義+演習(eラーニング)+報告書	2時間39分29秒		令和4年 7月19日(火) ～ 10月24(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
5	小学校との接続 (幼保小連携と接続)	明治学院大学 教授 松寿 洋子	・保幼小連携・接続の意義と現状 ・幼稚園教育要領・小学校学習指導要領等と保幼小連携・接続 ・保幼小の交流 ・就学前のカリキュラムとスタートカリキュラム ・保育・幼児教育の評価と保護者との連携	講義+演習(eラーニング)+報告書	2時間34分27秒		令和4年 7月19日(火) ～ 10月24(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
6	幼児の発達に応じた保育内容	株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子	グループ演習を通して、幼児の発達に応じた保育内容及び幼児教育全般を振り返り、各自の保育にとりいれる	講義及びグループ討議	3時間00分00秒		令和4年 10月25日(火)	パソコン スマートフォン タブレット Zoomによるライブ形式	200人

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～6すべての研修を受講する必要があります。